ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
95
2017.11

PHOTO: Kenshu Shintsubo
STYLING: Itsumi Takashina
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

弄放なムードの素肌に、ワンポイント加えたヴィヴィッドなアクセント。そんなメイクは、彼女の生まれ育った環境から発想されました。

ドレス ¥176,000(WMV | ビズビム)
／イヤリング ¥33,000(アニーコステロブラウン | ビームス ウィメン 渋谷)

今月のミューズが生まれるまで

谷口磨世さん
学生
2017. 9. 12 at Shinagawa
Photo: UDA

洗練されているけど、自然体。話すと、あくまで奥ゆかしいのに、聡することなく率直に受け答えできる。そんなギャップを併せ持つ谷口さんは、地方在住。

「聞けばご両親は、都会育ち。ソフィスティケイトな文化にも触れてきたバックボーンが、ほかの人とはまったく違った魅力を生んでいるように感じました」（UDAさん）

彼女のヘルシーな肌色との相性も考えたメイクは、開放感のあるフォークロアなムードに。

「ベースは、スキンケアした素肌にニュアンスを加えるためのチークのみ。そこに、ピリッと効かせる赤のアイラインを入れ、都会の空気感を出しました」（UDAさん）

眉は整える程度。唇にはツヤをプラスし、ミニマムに仕上げた。

「メイクの決め手になる要素は、顔立ちだけではありません。その人の思い出や家族、夢といったバックグラウンドが、答えを導き出す大きなヒントになります」（UDAさん）

素肌はスキンケアで潤いを与え、灼けた肌になじむ血色を頬にプラスする。チークというよりは、肌をうっすら染めることで、ニュアンスを与える感覚が正解。眉は、全体に対して薄い部分のみをアイブロウペンシル(1)で1本1本丁寧に描き足す。最後に、クリアな眉マスカラ(2)を使って、毛の流れをきれいに整える。目元は、赤いアイカラー(3)を使い、細いブラシでライン状に入れる。長さは、目頭から目尻1mm程度まで。上瞼の睫毛の生え際に、目を開けたときに細く見える太さで引く。唇は、リップクリームで、ナチュラルなツヤを与える。ネイルは、谷口さん本人が選んだピュアレッド(4)。

4　3　2　1

1: ごく薄づきの絶妙なカラー。リキッドとパウダーが1本にセット。シェイプ+シェード ブロウ ティント #スパイクト ¥2,600(M・A・C)
2: コンパクトなブラシで細部までコントロール。ル ジェル スルスィル #350 ¥4,200(シャネル)
3: メタリックな質感。中央のルビーカラーを使用。サンクルール #857 ¥7,700＊11/3限定発売(パルファン・クリスチャン・ディオール)
4: 透明感のあるシアーな発色。ネイルホリック #RD405 ¥300(コーセーコスメニエンス)

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティや著名人を手がけるほか、舞台のメイクプランニングも。本企画ではディレクションから担当。"美人化"のアーカイブも見られるHPがオープン！ uda-kesho.com/top

美人化モデル募集中 ページに登場してくれるモデルさんを募集しています！ お名前・住所・電話番号・年齢・職業・一言メッセージと、すっぴん&お気に入りの服を着たスナップ(上半身)を1枚ずつメールでお送りください。ginza.bijinka@gmail.com